

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入) 平成 23 年度

事業所番号	2775502525		
法人名	医療法人 幸晴会		
事業所名	第二こうせい苑グループホーム		
所在地	八尾市中田3丁目54番26号		
自己評価作成日	平成 23年 10月 1日	評価結果市町村受理日	平成 23年 12月 16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2775502525&SCD=320&PCD=27
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター		
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内		
訪問調査日	平成 23年 11月 12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人が運営するグループホームであり、理念として「個別ケアによる家庭的雰囲気の中で豊かな人間関係を保ち支えあう暮らしを目指しましょう」それに基づき利用者様に安心して、又安全に毎日を過ごして頂ける様、暖かな環境作りを目指しています。又、家族様にも随時の連絡、伝達を怠らない様心掛けています。そして、職員も笑顔で勤務できる様にそして、国家資格の保持者も多く日々スキルアップの為に法人内部研修にも参加し向上を図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域医療に尽力してきた先代の理事長の思いが、事業所の名前に秘められています。法人の方針である医療と介護の連携による複合的なサービスを提供することで、地域での暮らしを支えてきました。開設以来看取りの指針を掲げ24時間365日の支援体制を整え、重度化や終末期を見据えた支援を行い、地域住民から安心と信頼を得ています。職員のケアへの意識は高く、利用者の機能が徐々に低下する中においても、自立支援に向けて見守りながら、できることを引き出しています。また、利用者に寄り添いながら本人の思いを一番大切にして、喜怒哀楽が表出できるような関わりをしています。利用者の笑顔が何よりも職員の喜びとなっています。玄関先には、近隣住民の育てた菊の鉢が置かれており、明るく清潔なリビングには、利用者の思い出の作品や写真が飾られています。ホームの中からは利用者、職員の笑い声が響き、共に楽しく生活をしている様子が伝わります。近隣スーパーや花屋、ホーム周辺の散歩、園児やボランティア、民生委員や地域住民の来訪など地域との交流も日常的に行われています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「個別ケアによる家庭的な雰囲気の中で豊かな人間環境を保ち支えあう暮らしを目指しましょう」を理念とし、一人ひとりの利用者様の尊厳を守りながら、その人らしく生活出来る様、又地域との交流にも配慮し、安全に暮らせる様支援行なっている。	地域密着型サービスの意義をふまえて事業所の理念を明文化し、職員が日常的に目につくところに掲示しています。理念は職員間で共有し、利用者同士の繋がりや職員との関係、家庭的で一人ひとりを大切にされたケアの実践へ繋がっています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近隣の理髪店、喫茶店等を利用し日常会話ができ、散歩時も挨拶を交わしたり、又防災訓練時、周辺の家に一軒づつ行事を報告している。又、近隣保育園の園児たちと交流を行い楽しく過ごして頂いている。	開設後から積極的に地域と関わってきました。地域の夏祭りや運動会などの行事、地域住民懇談会へ参加しています。毎日散歩に出かけると近所の方から声をかけてもらい、観賞用の菊の鉢植えや柿をおすそわけに頂くなど、日常的な交流も広がっています。また、法人として市のゲートボール協会の大会や、地域包括支援センターが主催する認知症サポーターの研修への参画など、地域にも貢献しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	地域の方々や入居を希望されるご家族様の介護相談や見学等の問い合わせにも随時対応させて頂いている。又、地域における高齢者様を支える為の住民懇談会等の会合に参加し、色々な情報交換を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に一回、法人内の小規模多機能ホームと一緒に運営推進会議を実施し、利用者様、家族様と共に議題について貴重な意見を聞かせて頂いたり又、苑での取り組みについて理解して頂ける様報告を行い、より良い介護に繋がるよう努めている。</p>	<p>運営推進会議は、規程・規約を作成し、2ヵ月に1回開催しています。市の職員、民生児童委員、利用者家族、高齢者クラブの方、法人内の職員で構成されています。地区福祉委員との交流も広がってきました。運営推進会議では、ホームの現状報告と共に「高齢者と地域の繋がり」「高齢者の食事」などテーマを決めて情報交換や学習会も行われています。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市役所への毎月の空き状況を報告、又窓口にて利用者様の連絡や相談を行っている。そして、運営推進会議に参加して頂き、伝達や情報交換を行い連携を取れるように努めている。</p>	<p>日頃から市との連携を図っています。市の主催するグループホーム事業者連絡会は活発で、事業者間の交流や研修会も行われています。市へ報告するような事故の発生はありませんが、発生した場合の記録や手順等について、体制が整備されています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修により全職員が拘束について把握しており、拘束ベルトも利用者様の状態に応じて外している。又、玄関の施錠は午前中開錠を実施しており、今後も状況を見ながら開錠時間を考慮する。</p>	<p>権利擁護や身体拘束についての勉強会を実施しています。家族が安全のため車いすのベルト着用を希望した場合は、書面で承諾書を得ています。そのうえで、拘束の弊害を説明し、必要以上に抑制をしないよう家族へ働きかけ、段階的にベルト外しに取り組んでいます。前回の外部評価では、ホーム前の交通量が多く、安全面から玄関を施錠していました。現在は、利用者の状況や職員の体制をみながら、午前中開錠しています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修により学び全職員に伝達研修を行い知識を高めている。入浴時やオムツ交換時等にも異変がないか、職員間においても情報交換を行い日々の利用者様の状態を観察し、注意を払っている。些細な事にも見逃さず早期発見に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修により知識を得て必要に応じ早急な対応が出来るように認識を深めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項、契約書を事細かく説明を行い、不安、不満、疑問点が残らないよう納得して頂き利用頂ける様に対応行っている。改定時ご理解頂ける様十分に説明を行うよう心掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の面会時や電話等により意見、要望を聞かせていただき話し合い、検討行う。そして、サービスの向上に繋がるようにしている。又、運営推進会議においても色々な話を聞かせて頂き、運営に反映できる様に努めている。常に、コミュニケーションを大切に心がけている。	意見箱は、玄関に設置されています。職員は運営推進会議や納涼会など、家族との交流会の場で要望や意見を出せるように積極的に働きかけています。また、行事には家族の参加を働きかけ、個別に意見や要望を表せる機会を作っています。出された意見は、職員間で話し合い検討しています。家族から薬についての要望があり、医師や看護師などを交えてのカンファレンスの体制を整え対応しました。また、個別の要望に対しても、改善できることは早急に取り組んでいます。利用者の状態に合う車いすの要望が出され、カンファレンスで話し合い、車いすの工夫をした事例があります。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や日常業務において職員の意見、提案を聞けるような雰囲気作りを心がけ、日々のサービスの向上に繋がるように努めている。	ホーム長は、日常の業務に携わっており、職員の状況を把握しやすい立場にいます。法人として実施している「セルフチェックシート」の中に、人事に関する希望調査が盛り込まれています。利用者の入居に関しては、管理者のみで決定するのではなく、職員の意見も反映されています。また、利用者のための支援については、職員のアイデアを取り入れる体制があり、職員の働く意欲の向上に繋がっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修の機会を多く持ち、職員それぞれが介護の専門職として認識を持ち向上心が図れるよう、又職場環境についても気持ちよく勤務できるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での色々な研修、そして介護福祉士取得の為の研修、又外部研修にも進んで参加できる取り組みを行っている。そして、事業所内において介護技術や学習会を行い、スキルアップを図りよい良い介護ができるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	八尾市介護保険事業所連絡協議会 施設サービス部会グループホーム分科会に加入し研修や勉強会に参加し情報交換を行ったり、他施設の見学等により交流を深めサービスの向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の要望や相談、そして不安感等を訴えやすい雰囲気作りを心掛けている。安心して過ごして頂けるようにコミュニケーションを取り、言葉かけにも工夫をして共感の姿勢を保ち傾聴している。モニタリング、カンファレンスを行い支援させて頂いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の要望や相談に対してしっかりと受け止め、対応出来る雰囲気作りを心がけ、そして来苑時には近況報告や、多くのコミュニケーションを取り安全に、又安心して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様、家族様の要望等を聞き状態を良く観察し、カンファレンスを行い「その時」の必要な事項や問題等を話し合い、又利用者様、家族様にも説明をし理解して頂ける様、よりよい介護を目指しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活で出来る範囲の家事のお手伝いや一緒に作業をしたりレクリエーションを楽しんだり、又共に同じ食事を頂くことで少しでも家庭的な雰囲気を作り、たわいもない会話で微笑み安らぎを感じて頂けるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様、来苑時には常に状況報告を行い、又状態に変化があった場合は、その都度家族様に連絡し、些細な事も伝えるようにしている。そして必要時にはカンファレンスを行い職員全員が把握し支援を行なっている。又行事にも参加して頂き利用者様と共に楽しく過ごして頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人等がいつでも面会に来て頂けるように電話での対応も行っている。又、再来苑して頂けるようにも対応している。故郷の楽しかった思い出話や生活習慣等を話され、ゆっくりと傾聴し、又共感させて頂く。そして、故郷にちなんだ歌と一緒に唄ったりしている。	入居前からの友人がホームに来訪し、利用者は一緒にお茶を飲み、自由に過ごしています。職員は、利用者の馴染みの関係の継続を支援しています。家族の協力を得ながら、教会への礼拝や行事へ参加している利用者もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士のコミュニケーションが円滑に行えるように職員が間に入ったり、レクリエーションや作業により、より一層の関わりが持てるように、又座席の位置にも配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も家族様がいつでも来苑できる よう、又苑外で出会った時も気持ちよく 対応し、相談等を受けられる体制作り をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの生活歴や趣味、嗜好を把握し 居室には馴染みのある物を置いたり、 又日々の生活の様子を観察しながら、 コミュニケーションを取りモニタリングそ して、カンファレンスで利用者様の意向 を話し合い心地良いと思って頂ける様 に支援行なっている。	担当職員制により、利用者や家族の 意見を把握し、一人ひとりがどのよう に暮らしたいか記録に残しています。食 事や入浴など日々の関わりの中から、 利用者の思いを聞き取り「気づきファ イル」に記入し、会議等で情報を共有し ています。意思疎通の困難な利用者 の方に対しても、家族や利用者の表情 などから思いを推測しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用 の経過等の把握に努めている	個人ファイル内にフェイスシートが綴っ てあり全職員がいつでも見ることがで き、又家族様からの会話により生活 歴、暮らしぶり、習慣等を把握に努め ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状 態、有する力等の現状の把握に努めて いる	一人ひとりの能力に合わせたレクリエ ーションやお手伝いをして頂いている。 又、体調面においてもドクター、ナース に相談し指示を受けながら快適に過ご して頂けるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>月に一度のモニタリング、三ヶ月に一度のカンファレンスを行っている。何かあれば、その都度カンファレンスを行っている。必要に応じてドクター、ナース、家族様にも同席して頂く時もある。改善できるよう検討し経過観察を行い、そして三ヶ月に一度介護サービス計画書を作成している。又、家族様にも同意を得ている。</p>	<p>介護計画は、3ヵ月ごとの見直しを行い、家族に計画の説明を行った上で同意を得ています。担当制を取り入れ、利用者一人ひとりの暮らしの状況を把握しています。炊事、洗濯、掃除、買物、好きなこと、興味、趣味など詳細をシートに整理することで情報を共有し、日々のケアに繋いでいます。望む暮らし、できること、支援があればできること、生活歴なども観察や家族の協力を得て、把握しています。情報をもとにサービス計画を作成し、利用者家族の了解を得て、実施しています。ケアの内容について定期的にチームで話し合わせ、支援についての評価が行われています。</p>	<p>入居後、新たに得られた情報は、利用者のフェイスシート等に加筆されてはいかでしょうか。また、記録物が業務別でシートに記載されており、外出や入浴、排泄などの状況や支援内容が把握しにくい状況となっているため、利用者ファイルに整理することで、全体像が分かりやすくなるよう、記録を整理することが望まれます。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者様の日々の行動や発言内容、そして入浴、排泄、夜間の状況を詳しく個別記録に記入している。体調に変化あった場合や問題行動等、そしてドクター、ナース指示も赤字で記入している。朝、夕の職員交代時の伝達も行っている。そして改善すべき問題が生じた場合、その日の出勤者で検討している。別に、連絡ノートを設け職員間での情報を共有している。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々利用者様や家族様の要望に対応出来るように職員間で話し合いの場を持ち、新しいサービスを要する場合2, 3日～1週間試して様子観察を行い検討し、又は改善しながら取り組むようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事の時は、ボランティアの方を招き色々な催し物を披露して頂き楽しいひと時を過ごして頂いている。又近隣の理髪店を利用されたり、外食や買い物にも行かれる。又近隣保育園の園児たちとも交流を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に二回、法人内の医療機関より往診がある。外部の医療機関の利用の時は家族様も同行して頂いたり、家族様対応にて受診される。そして歯科は往診して頂き利用者様、家族様の意向に沿って対応してもらっている。	入居時には通院や受診の方法について家族に説明を行い、重要事項説明書にも謳い、同意を得ています。家族や利用者の状況に応じて、かかりつけ医への通院支援も行っています。通院後の情報については家族と話し合いを行い、必要に応じて内容を記録に残して対応しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の体調の変化や排泄状態、食事、水分摂取量等、毎日の訪問時に報告し相談や指示を受け、適切な看護が受けられるようにしている。又急な発熱時や、夜間、休日の急変時にも24時間体制で対応していただけるようになっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	主治医より情報提供を頂き早期治療できるように対応行っている。入院中は随時家族様と連絡を取り状態の把握に努めている。退院後も看護サマリーにより、カンファレンスを行い安心して過ごせる様、支援行なっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>日々の状態について面会時や電話により状況報告を行っている。そしてドクターと家族様と今後の方針や病状について説明を受けられ、家族様の意向に沿って配慮を行い、職員間においても方針を共有し暖かい介護ができるように支援行なっている。</p>	<p>開設後以来、終末期を見据えた支援をしています。法人の方針である医療と介護の連携による在宅支援を柱に、利用者家族の希望に応じて、重度化や終末期の支援をしてきました。看取りの方針も掲げ、利用者、家族へ説明を行い、24時間365日の体制を整えながら、医師、看護師、介護者がチーム一丸となり支援をしています。職員も浴槽やトイレなどの設備面での課題を抱えながら、利用者のできることを支援し、最期までその人らしく生活ができるよう取り組んでいます。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>外部研修や法人内研修を受け報告書を作成し、全職員が回覧している。又会議において伝達研修も行っており、スキルアップに努めている。普通救命講習終了証も多数の職員が習得している。マニュアルも作成し、事務所内に掲示し閲覧できるようにしている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回消防署員と共に避難訓練を実施している。その時、地域の方々にもお知らせをしている。災害時の連絡方法や避難場所等も事務所に掲示しており、マニュアルも閲覧できるようにしている。又、職員間の連絡網も作成し、夜間災害時には、近くに住む職員がすぐに駆けつける体制になっている。防災に関する研修も受け毎月の会議において伝達研修をし個々に意識を高めるようにしている。	消防署の指導を受け、年2回以上の避難訓練を実施しています。職員に消防署のOBがおり、日頃より防災への意識を高めています。防災訓練では利用者也参加し、ベランダへの移動、非常階段を使用しての避難、夜間を想定した訓練を実施しています。消火器やスプリンクラーが設置され、災害対策マニュアル、職員の連絡網なども作成し、災害に備えています。また、水や缶詰などの備蓄、おむつや懐中電灯なども準備しています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様のプライバシーを尊重した声かけや対応に注意している。特に排泄に関しての声かけや行動には配慮している。夜間帯は一人勤務の為、危険を考慮し居室のドアを開放しているが、出来る限り尊重した対応をしている。	個人情報保護や虐待防止について学習会を実施しています。「セルフチェックシート」による挨拶や言葉遣い、利用者への対応など自己点検を行い、一人ひとりの気持ちを大切にしたりさげないケア、できることを引き出すケアを心がけています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけしている	自己決定が出来る利用者様が少なく笑顔で、解りやすい言葉でゆっくり声かけを行い、確認して頂いている。又利用者様が何かを訴えたそうにしておられる動作には目配りをし様子を察しながら介助行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務の流れのマニュアルはあるが、利用者様のその日の体調や状況に合わせてフロアにてテレビを見られたり、居室で過ごされたり、臨機応変に対応している。安楽に過ごされるように希望を聞きながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族様が持って来られた衣類や職員のほうから機能性にとんだ服をお願いする時もある。利用者様の好みや季節に応じた衣類をサイクルも考慮して着用して頂いている。二ヶ月に一回、訪問理美容や近隣の理髪店の利用もされている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様、一人ひとりの状態に合わせて柔らかく、細かく、又はミキサーにして食べ易く考慮している。お誕生日には好きな物をメニューに入れて提供している。そして職員も一緒に食事をし和やかな雰囲気作りに努めている。又自己にて食事ができるよう支援行なっている。片付けもお願いしている。	開設当時は、利用者と一緒に調理や盛り付け、配膳をしていましたが、車いすでの利用者も増え難しい状況です。しかし、その中でも、食後の食器洗いや片付けなどできる利用者には、可能な範囲で見守り、役割を担ってもらっています。朝食は、和食、ホットドックやサンドイッチなど一人ひとりの好みに応じて提供しています。昼食、夕食の食材は、業者から配送されますが、ユニットごとに調理をしています。日曜日の夕食は「お楽しみメニュー」の日となっており、お寿司やお肉など利用者の好みに応じて献立を作成し、買物に行っています。食事の摂取量が少ない利用者には、サツマイモやカボチャの補食を行うなど、栄養にも注意を払っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を摂取表に記入し職員がそれぞれに確認し把握出来るようにしている。摂取量の少ない場合は代替りの物や果物、野菜ジュース等で補うように工夫している。又、ナースにも報告している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、就寝前の口腔ケアと毎食後の嗽の実施そして、毎日義歯洗浄を行っている。又、嗽のできない利用者様は舌ブラシとガーゼにて口腔内を清潔にケアしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を記入し回数や排泄パターンを把握し、定期的にトイレ誘導行なっている。又、利用者様から訴えがあればその都度対応し、失禁を減らし、そして尿意、便意が保たれるように支援している。寝たままの状態が取れる方はリハビリパンツを利用され、そしてPトイレ移動も行っている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけを行うことで、自立に繋がるよう支援をしています。布やパッド、リハビリパンツなど、一人ひとりに合ったおむつや排せつの支援を心がけています。重度になっても座位が可能であれば、できるだけポータブルトイレを利用し、トイレでの排泄ができるよう支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食時、ミルクやカフェオレ、ヨーグルトにバナナを食べて頂いたり、排便を促す為野菜ジュースや水分を多めに取ってもらうように支援行なっている。そして、排泄時腹部マッサージを行ったり、歩行できる方は歩いていただき予防に努めている。又、ドクターより便秘剤も処方され、ナースより指示を頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決まっているが、体調に合わせて変更している。又、入浴時間はその時の状況により対応している。気持ちよく爽快感を味わって頂けるように入浴剤を使用したり、浴室内、脱衣場の温度調整を行っている。入浴拒否のある方は事前にボードを利用して入浴日であると認識して頂き、スムーズに入られるよう声かけに工夫している。	利用者の状態や一人ひとりの希望に応じた入浴を支援しています。2日に1回の入浴を基本としていますが、希望により、毎日入浴している利用者もいます。車いすの利用者も多く、身体機能が低下する中、必要に応じて2人介助やシャワー浴等を行っています。体調により入浴が困難な場合には、清拭や足浴などの支援もしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態に合わせて、夜間の入眠時間を考慮し、良眠できるように空調や照明に配慮し、夜間二時間ごとに巡視を行い体位変換表に記したり排泄の確認を行い、安全に安眠できるように支援している。そして、昼夜逆転しないようにレクリエーションや作業により、メリハリのある生活を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬リストは各個人ファイルに綴りいつでも見れるようにしている。服薬チェック欄を作り漏れや間違いのない様に確認している。薬に変更があった場合は、個人記録、連絡ノートに記入し申し送り時に伝達し職員全員が把握出来るようにしている。日々の変化や状況をドクター、ナースに報告し指示を頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>皆様が喜ばれる食べ物を企画しノンアルコールビールを飲んでいただいたり、お誕生日には手作りケーキ、普段のおやつに手作りお菓子を提供させて頂く。そして、色塗りや習字、洗濯物の畳み等、出来る事をお願いしている。又、ボランティアの方により色々な催し物に参加され楽しく過ごして頂ける様支援行なっている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>気候の良い時は外気浴や散歩に行かれ四季を感じて頂く。又お花見や大型ショッピングセンターに出かけ、普段と違う環境に触れられるよう支援行なっている。又、買い物の要望があれば対応している。そして、家族様の希望により外出や外泊をされ家族の絆を大切にできるように支援行なっている。</p>	<p>花見や外食などの行事以外にも、日常的に近隣の花屋やスーパーへの買い物、グループホーム周辺への散歩などに出かけています。家族の来訪時には、玄関先まで見送り、外気に触れる機会をできるだけ作り、気分転換を図っています。車いす利用の方も多く、一人ひとりのペースや外出の興味が異なるため、個別での対応をしています。散歩時には、利用者の様子をみながら下肢の筋力を維持できるように、歩けるところまでは車いすを押し、疲れたら車いすに乗るなど、外出の気分転換と併せて、機能を維持できるように働きかけています。また、自身の足で歩けるよう筋力維持のために、同法人内のリハビリスタッフの協力を得ながら、運動等の指導も受けています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持している方は紛失しないよう、置き場所を職員が把握し確認している。自己管理できない方が多いため家族様の希望により事務所で預かりし、確認後必要な物を職員が変わって購入している。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	遠方の家族様より電話があると必ず電話口に出ていただき、懐かしくお話される。自ら電話をかけたいと訴えは少ない。手紙等届くと、自ら読まれたり読み聞かせて欲しいと言われる。そして、年賀状は個々に出来る範囲内で書かれ送らせて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関にはさりげない花を生けている。フロアには季節感のある飾り付けや利用者様の作品も飾っている。共用空間の掃除の徹底、清潔を保てるよう臭い等にも注意し利用者様に適した室温にして快適に過ごせる様配慮している。	格子戸の玄関を開けると下駄箱があり、そばには靴を履くための椅子が置かれています。明るく開放的な玄関には、大輪の菊や鉢植えが置かれ、季節を感じることができます。リビングは広く開放的で、大きなテーブルが置かれ、利用者は自由にテーブルの周りに座っています。対面式のキッチンがあり、リビングから調理の様子を見ることができます。壁には利用者の作品や写真が飾られています。廊下は車いすの往来が可能な広さで、壁には手すりが付けられ、利用者が自由に移動できるよう、椅子の配置も工夫しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一応、席は決まってお気合の方同士の席が近くであったり、テレビの好きな方にはよく見える席に座って頂いている。しかし、何ら状態に変化があればその都度職員間で話し合い、変更し和やかに過ごして頂けるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みの家具やテレビ等を持参されている。家族様の写真や手作りの作品等、思い出の物を置かれ居心地の良い落ち着いた空間にしている。又、曜日を決めて居室掃除を行って気持ち良く休んで頂けるようにしている。	居室の入口には、一人ひとり手作りの表札を掲げ、暖簾を垂らしている利用者もいます。室内は明るく、洗面台とベッド、クローゼットが備え付けられており、荷物の整理ができるスペースがあります。椅子やテーブル、タンス、テレビ、仏壇など可能な限り持ち込みは自由です。利用者は、家族の写真やカレンダー、絵画などを飾っています。職員も、体調の変化から1日中ベッドで過ごす利用者が他の利用者と同様にベッドの配置を工夫したり、布団での生活を支援するなど、利用者とともに安心して過ごせる環境作りに向けて支援しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共同スペースには手摺りがあるが、転倒防止の為、空きのイスを利用し安全につたって移動できるように工夫している。又、夜間PTイレを設置して転倒のリスクを考慮し排泄の自立を促している。		